

清水 真美さん

福岡県
福岡女子高校出身挑戦して経験することで
本当にやりたいことに出会えた
かけがえのない2年間

美大への進学を考えていた、高校生の私。でも何をやりた
いのか、明確な答えはありませんでした。そんな時、10系列
の授業を自由に学べる造形短期大学部に魅力を感じ、「こ
こで得意な分野を見つけよう」と進学を決めました。

1年次には、陶芸や写真など興味がわいた科目は可能な
限り履修。不安はありましたが、どの授業も先生が基礎から
丁寧に教えてくれたので安心して学べました。そんな折、本
当にやりたいことに出会えたんです。それが立体造形系の
「塑造」でした。頭の中でイメージしたものを形作る面白さ
にのめり込みました。時に思いどおりに作れないもどかしさも
ありましたが、先生が声をかけてくれたり、友だちが自身の作
品を見せて刺激をくれたりして…。そのおかげもあって、塑造
未経験だった私が卒業研究では「私が考える理想の体型」
というテーマで、等身大の塑造に取り組むまでに成長しまし
た。髪や腰、お尻の造形にはこだわったこともあり、友だちから
「すごく良いライン!」って褒められた時は嬉しかったです。

造形短期大学部では、何事も挑戦することの大切さと、
経験すれば新しい発見があることを教えられました。卒業後
は、研究生として1年間作品づくりに励み、もっと技術を身に
つけて、作品の幅を広げたいと思います。



● デジタルファブリケーション
「コースターとかけ時計」



● 立体構成「紙のぼうし」



● 自主制作(香椎祭)「ペーパーファッション」